

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2014年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE 新築[簡易版]

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年追補版(BE対応) 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bei(v.1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	相模女子大学新棟	階数	地上4F
建設地	相模原市南区文京2丁目4072-2外	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、準防	平均居住人員	635 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	2,100 時間/年
建物用途	学校,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年1月 予定	評価の実施日	2013年11月27日
敷地面積	4,298 m ²	作成者	株式会社社本建築事務所
建築面積	1,212 m ²	確認日	2013年11月27日
延床面積	4,190 m ²	確認者	株式会社社本建築事務所

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: A: B+: B-: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
建設 修繕・更新・解体 運用 オフサイト オフサイト

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです (kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.1

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.6

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項	
総合 将来的な改修・更新に配慮したフレキシビリティの高い実験実習棟とした。	その他 特になし。
Q1 室内環境 バランス窓、自然換気窓を活用した、自然通風が可能なた計画とした。	Q2 サービス性能 重要度係数は1.25とし、間仕切り変更が容易な計画とした。
Q3 室外環境(敷地内) できるだけ、キャンパス内の緑地を保全するよう配慮した。	
LR1 エネルギー LED照明を多用し、維持管理の低減を配慮した。	LR2 資源・マテリアル 節水型衛生器具を採用した。
	LR3 敷地外環境 下方指向性の屋外灯を設置し近隣の高層集合住宅への光害に配慮した。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される